

## 第40回自由が丘のまち運営会議議事録

日 時 : 平成22年(2010年) 9月28日(火)

18:30~20:30

場 所 : 緑が丘コミュニティセンター 第3研修室 目黒区緑が丘2-7-20

出 席 者 : 別紙の通り

議 題 : 1 自由が丘森林計画の経過報告  
2 駅前広場整備事業の進捗状況について

協議事項 : 1 東急大井町線 地下化推進について

(株)ジェイ・スピリット渡邊取締役より挨拶

◆議題・・・自由が丘森林計画について 西村事業部長より報告

◆議題・・・駅前広場整備事業の進捗状況について

碑文谷土木事務所監督員柳下氏より報告

<質疑応答>

(委員)今までにクレームはありますか？

→ありません。

(平井取締役)前回の運営会議で、券売機の上屋の件で、券売機から先の交番・公衆トイレにも従来どおり上屋をかけとほしいと申し入れをしましたが、その件についてはどうなっていますか。

→板垣課長:東急の改札口の上屋について、若干の動きがありましたのでご報告申し上げます。前回の運営会議でいろいろとご指摘頂き、区の方も何とかできる限りの事はしたいと思っております。8月に区と東急不動産・東急電鉄、3者で集まり協議を致しました。これについては、区の方の建築基準法の手続き上の問題で出来ないというのであれば、それは何か上手い考え方によって、何か解決できる方法があるのではないかと実際に許可を降ろす建築課をまきこみ話をしております。その時の会議では、細かく内容は申しあげませんがこうすれば出来るのではないかという案を東急さんに提示しております。それについては、電鉄さんと不動産さんでいろいろと調整しながらこれを受け入れてできるのかという事について、ボールを投げている状態です。区の方としては、こうすれば良いのではないかと提示申し上げている所でございます。ただし、これについては、東急さんの方で内部的な話し合いにいつまでかかるのか分からない状態です。少なくとも、今回の駅広の工事に合わせてトイレの方までの延ばすという形には多分ならないと思います。とりあえずは、当初の予定通りいったんは作りますが、来年以降、できるだけ早くにつなげられるように区の方は話が進められればと思っております。東急さんの方が好意的に受けて止めてやってくれるかどうか、という状況であります。

(平井取締役)こちらでわかっている経緯ですが、8月4日に電鉄の担当部長さんと5～6名位の方がお見えになって渡邊代表と私に、自由が丘の皆さんのご意向にそった形でやりたい、と明言されていかれました。一方、板垣課長さんからそういうなげかけをしてくださっているという事で2段階的にはなるのでしょうか、皆さんがお望みになられたようにお手洗いの所まで上屋がかかる見通しになりました。本当に有難うございました。

◆協議事項 東急大井町線 地下化推進について

ユニットデザインファクトリー主催小原さんより説明 資料参照

<質疑応答>

(平井取締役)自由が丘は今、鉄道立体化へ向けて行動を開始すべきか？という所が今日の視点だと思えます。ご意見を頂ければと思えます。

(委員)すでに他の地区から、こういう計画をしているが自由が丘も協力してくれと言われましたが、私

がびっくりするような計画でした。よその地区ではいろいろと動いています。自由が丘も早く設立して、勉強会・意見交換を絶対にして頂きたい。世田谷地区の計画は不安が残る計画で、すでに署名活動等をして東急の助役さんとも協議済みで政治家さんも動かしている、という話をしていましたので自由が丘は一番動かなければいけない場所なのですから、是非、準備委員会・協議委員会は設立して頂きたいと思います。

→(平井取締役)行政の方はまだまだ道路計画を重視されているようですけれども、最近では街づくりというものを重視するようになってきているということで、世田谷地区の方も街づくりに絡んだもので路線変更ですとかお話がでております。208・207・46号というものが重要になってきます。商店街を発展していく、住宅街を保全していく上でどういった都市計画道路が望ましいのかという事を議論していかなければいけないと思います。

(田島議員)踏切に関しましては、区議会の積極姿勢が出ましたので、議会の対応ということでお話をさせて頂きたいと思います。平成19年・20年は区に対しての連続立体化の予算がついていました。平成21年・22年は予算が削られています。なぜなくなったかと質問すると、目黒区民からの要望が1つもあがっていない、それで、区としての予算はなくしたという事が答弁の中でございました。目黒区の中でこの立体化に関して区民からの要望が1つもあがっていないというのが現状であります。私どもとしては、広小路さんの所の踏切・東急さんの踏切を見ていますといつ事故が起こってもおかしくないという状況でございます。昨年から、東急電鉄が急行を走らせて、非常に今、あかすの踏切に近い状態になっております。その意味からも、是非、この協議会をすすめていきまして、皆様の所から東京都の要件は大変難しい部分はあると思いますが、国や行政を動かすには、やはり区民からの声、地元の声が非常に大事になってくると思います。ぜひとも皆さんの声をあげて頂き、足立区のように区が主体となってすすめていける状態になるとと思いますので、今まで声がなかったのを残念に思います。これを機に一つお力を出して頂いて行政を動かすという形までもってきて頂ければありがたいと思います。議員として自由が丘で生まれ育った者として発言させて頂きましたので、ご了解頂ければと思います。

(委員)今、田島さんが問題のある危険な踏切を2箇所あげられましたが、それ以外にも、自由通り、玉川聖学院の踏切も急行が走るようになってすごく渋滞が増えたな、と思っております。玉川聖学院の所は一車線しか通れない。待つ時間が長いと警報音が鳴り始めてから、渡り始めてしまう、ということも出てきていますので立体化は急いで考えていかなければいけないのではないかと思います。鉄道の立体化それだけをとって進めていくという事は考えられない事であって幹線道路・駅広・まち周辺・住宅街の方まで含めて自由が丘がこの先どういう風になってほしいのかという事を総合的に考えながら行政に働きかけていくということが、今やらなければならない事だと考えます。

(委員)何年も前に東横線のガードレールと踏切で消防車が通れないということがあり、防災面の方で踏切3箇所、自由が丘デパートとひかり街のガード、緑小通りのガードは完全に危険な地帯だと思います。自由が丘は防災面に弱いと思いますのでそういう面での取り組みもみていただけたら、と思い

ます。

(平井取締役)いつでも、ご意見があればジェイ・スピリットにご意見を頂きたいと思います。また、推進協議会のようなものを立ちあげることをご了解頂けるということによいでしょうか。

(委員)賛同の拍手

(平井取締役)では、そのように進めていきます。

小原氏: インターネット上で「踏切探検隊」というものがあり、これが良くできていて、その周辺の情報やコメントがついているような面白いサイトがあるので見てみて下さい。

(渡邊取締役)危険な踏切・ガードをなくそうよ、ということで会を進めていくという方向性で良いと思います。早い時期に立ち上げ、世田谷の皆さんと一体となってやるということも考えられます。

(委員)踏切については、バリアフリーの視点も入れてやって頂けると良いと思います。

高橋氏: 次回は 11 月 30 日(火)になります。それでは、今日はこれにて閉会いたします。ありがとうございました。